

TOPICS

- ① 鉄鋼関連情報 (社団法人鉄鋼連盟)
- ② AI技術の進化

1

鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟)

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需給の動き 2019年9月』の資料を閲覧することができます。

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu1909.pdf>

2

AI 技術の進化

■ 「3・1・0」ってご存知ですか？

中国の網商銀行では、融資申請の記入に必要な時間は約「3」分、提出すると「1」秒でシステムが融資可否を判断し、AIによる審査のみで人件費「0」の融資判断を下しています。

このサービスは、2015年に設立された、アントフィナンシャル社旗下のネット銀行のサービスです。銀行とはいっても店舗での預金業務は行っていません。小規模企業、個人事業者、農家への融資に業務は絞り込まれています。



例えば、トラック運転手ですと、目的地までのガソリン代や高速代の融資を受け、到着したら報酬をもらって返済するといった具合です。

野菜市場のおばちゃんもそうです。朝お金を借りて仕入れ、夜になれば売上金で返済するわけです。こういう事情ですから頻繁に融資を受けては返す人が大半です。顧客の60%は年50回以上の融資を受けています。

広大な地域とスマホの決済が進んでいる中国がどんどん進化しています。

■ ちょっと有名な AI 活用

- 横浜市のごみ分別案内のQ&AにAIを活用

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/>

捨てる物に「蛍光灯」とか、「ボタン電池」とか入力すると捨て方を教えてくれます。

有名になったのは、捨てる物に「旦那」、「人生」とか入力すると、それも教えてくれます。

想定外の捨てる物を入力した時の答えが有名になりました。

ごみ分別案内
押してみてくださいね。



■ 身近な AI といえば

- お掃除ロボット（部屋を認識して掃除。仕事が終わると充電ステーションに自動で向かう。）
- 自動車の自動運転制御
- 翻訳
- クレジットカードの不正利用検出
- 天気予報

等々、多くの分野に入り込んでいます。

■ 弊社の取組

- AIによる自動配車



毎日、30数台の車両に
1210点の配達品を121ヶ
所に届ける配車を組む

積込内容、配車、
届先順指定等

積込指示書



AIにて配車計画
を立案

積込指示書



弊社では6工場から、毎日30数台のトラックに1210点の配達品をのせ、121箇所へ配達しています。（平均値）全社で、配車の専任者数名が積込指示書を作成しています。

今年、社内のシステムとAI配車のソフトウェアを連携して、配車作業の省人化に取り組んでいます。

まだ、立上げ中ですが、弊社、東北の事業所では約7割の配車をAIが決めた積込指示書で運用しています。

■ AI 技術が更に進むと

AIがサイバー攻撃する可能性があると言われている。また、サイバー攻撃を防ぐAIも登場すると言われています。攻守ともAIなんて、SF映画の様です。

情報漏洩のリスクの多くは、攻撃型のメールです。

メール添付ファイルを開かせ、マルウェアやウィルスに感染させ、情報漏洩を発生させます。添付ファイルに仕込まれたマルウェアやウィルスをそのPCに忍ばせさせます。開いた直後に活動開始をすると、セキュリティソフトに捕まるため、時間おいてから活動開始するタイプも確認されています。

後はこっそり情報をネット経由で漏洩していきます。

■ 2020 オリンピックに向けて、攻撃型メールが増えていきます。

9月27日の新聞等で「オリンピックチケットの申込みで不正IDが1200件、チケット7000枚が無効になる」と報道がありました。この様なニュースが出ると、今度はチケットが無効になりました！とメールが届き、添付ファイルを開かせて感染させたり、本文内のURLをクリックさせて有害サイトに誘導したり、あの手、この手でリスクがやってくる。メールの差出人、内容等を良く確認して、不用意に本文のURLをクリックしたり、添付ファイルを開かない事が安全の第一です。

開いて良いか不明な時は、情報システム部門や周りの詳しい人に相談しましょう。

ご安全に！

編集後記

情報システム事業部 前澤です。

先日、健康診断の結果が出たのですが、なんとメタボ該当の判定が下されてしまいました。ここ数年はメタボ非該当で、しかも去年よりも体重は減っているにも関わらずの結果でした。カロリー摂取量と消費量のバランスが悪く、その結果内臓脂肪が溜まってしまったのだと思います。

この健康診断も将来はAIによって判断されて即日診断結果が出るようになるといいですね。

さらに、腕に身に着けたAI携帯端末が常に体重、血圧、カロリー、運動量などを管理してくれるようになり、バリウムを飲んで健康診断しなくても済む時代が早く来てほしいと思います。

発行：根津鋼材株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里1-32-5(TEL)03-3805-5555

メール：hp-master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光／監修 樋口良成／編集長

編集：情報システム事業部 ※NEZUシステム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですがhp-master@nezu-g.co.jpまでご連絡ください。その際には、御社名、御社（配信先）メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。